

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-19648

(43)公開日 平成8年(1996)1月23日

(51)Int.Cl.⁶

A 63 F 7/02

識別記号

府内整理番号

326 G

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2 FD (全4頁)

(21)出願番号 特願平6-176045

(22)出願日 平成6年(1994)7月5日

(71)出願人 591266995

株式会社真城

愛知県名古屋市東区東大曾根町十三番十三号

(72)発明者 北村 哲夫

名古屋市東区東大曾根町13番13号 株式会社真城内

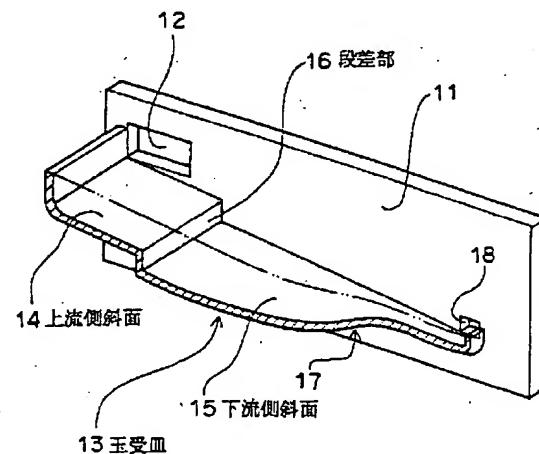
(74)代理人 弁理士 加古 宗男

(54)【発明の名称】 パチンコ機の玉受皿

(57)【要約】

【目的】 玉受皿の玉流れを良くして玉詰まりを防止する。

【構成】 玉受皿13の底面の上流側斜面14と下流側斜面15との間に段差部16が設けられ、この段差部14によって下流側斜面15が上流側斜面14よりも一段低くなっている。更に、下流側斜面15には、下流側(右側)に向って流路を徐々に狭めて最終的にパチンコ玉を一列に整列させる玉崩し17が設けられている。この場合、段差部14によって下流側斜面16が上流側斜面14よりも一段低くなっているため、上流側斜面14から下流側斜面15への玉流れに勢いがつき、その玉流れの勢いによって下流側斜面15上のパチンコ玉のブリッジを突き崩し、下流側斜面15の玉流れを良くする。これにより、パチンコ玉が玉崩し17に沿って順次一列に整列しながら、出口18から整流器(図示せず)へ向ってスムーズに流れる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 賞球として排出されるパチンコ玉を受け溜め、そのパチンコ玉を整流器へ向って流下させるよう底面が傾斜されたパチンコ機の玉受皿において、前記底面の上流側斜面に対して段差をつけて下流側斜面を低くするように形成したことを特徴とするパチンコ機の玉受皿。

【請求項2】 前記底面の上流側斜面の勾配を下流側斜面の勾配よりも大きくするように形成したことを特徴とする請求項1記載のパチンコ機の玉受皿。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、賞球として排出されるパチンコ玉を受け溜めるパチンコ機の玉受皿に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 周知のように、パチンコ機の前面下部には、図4に示すように、賞球として排出されるパチンコ玉を受け溜める、いわゆる“上皿”と称される玉受皿10が設けられている。この玉受皿10は、底面が右側に向って下り傾斜するように形成され、その傾斜によってパチンコ玉を右方向に流して整流器（図示せず）へ供給するようになっている。この場合、整流器へのパチンコ玉の供給は、パチンコ玉の発射動作に連動させて1個ずつ行う必要があるため、玉受皿10の下流側部分は流路を徐々に狭めて最終的にパチンコ玉を一列に整列させる、いわゆる玉崩し9と称される構成となっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、玉受皿10の底面を流れるパチンコ玉は、その背後（上流側）のパチンコ玉から押されて背圧（以下「玉圧」という）を受け、この玉圧が流路が狭まる玉崩し9の下流側ほど累積的に大きくなる。このため、玉受皿10が汚れていたり、パチンコ玉の磨きが不足したりしていて、パチンコ玉の滑りが悪くなっていると、流路が狭まる玉崩し9を流れるパチンコ玉が玉圧によってブリッジを組んで玉詰まりが発生し、パチンコ玉の発射動作が妨げられてしまうことがあり、これが遊技客に不愉快な思いをさせてしまう原因となっていた。

【0004】 本発明はこのような事情を考慮してなされたものであり、従ってその目的は、玉流れを良くして玉詰まりを防止することができるパチンコ機の玉受皿を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため、本発明のパチンコ機の玉受皿は、底面の上流側斜面に対して段差をつけて下流側斜面を低くするように形成したものである（請求項1）。この場合、玉受皿の底面の上流側斜面の勾配を下流側斜面の勾配よりも大きくするように形成しても良い（請求項2）。

【0006】

【作用】 本発明の請求項1の玉受皿の底面は、上流側斜面と下流側斜面との間に段差がつけられ、下流側斜面が上流側斜面よりも一段低くなっている。このため、上流側斜面から下流側斜面への玉流れに勢いがつき、その玉流れの勢いによって下流側斜面上のパチンコ玉のブリッジを突き崩し、下流側斜面の玉流れを良くする。この場合、請求項2のように、上流側斜面の勾配を下流側斜面の勾配よりも大きくすれば、上流側斜面から下流側斜面への玉流れの勢いが一層大きくなり、玉流れが一層良くなる。

【0007】

【実施例】 以下、本発明の一実施例を図1に基づいて説明する。パチンコ機の前面下部に設けられた前板11の左側上部には、賞球排出口12と、この賞球排出口12から排出されるパチンコ玉を受け溜める玉受皿13とが設けられている。この玉受皿13は、パチンコ玉を右端の流出口18へ向って流下させるように底面全体が傾斜され、その最上流部（左端部）に賞球排出口12が位置している。この玉受皿13の底面の上流側斜面14と下流側斜面15との間に段差部16が設けられ、この段差部14によって下流側斜面15が上流側斜面14よりも一段低くなっている。更に、下流側斜面15には、下流側（右側）に向って流路を徐々に狭めて最終的にパチンコ玉を一列に整列させる玉崩し17が設けられている。尚、この実施例では、上流側斜面14の勾配は下流側斜面15の勾配とほぼ同じになっている。

【0008】 以上のように構成した第1実施例の玉受皿13の底面は、上流側斜面14と下流側斜面15との間に段差部16が設けられ、この段差部16によって下流側斜面16が上流側斜面14よりも一段低くなっている。このため、上流側斜面14から下流側斜面15への玉流れに勢いがつき、その玉流れの勢いによって下流側斜面15上のパチンコ玉のブリッジを突き崩し、下流側斜面15の玉流れを良くする。これにより、玉崩し17の周辺で玉詰まりが発生する事なく、パチンコ玉が玉崩し17に沿って順次一列に整列しながら、流出口18から整流器（図示せず）へ向ってスムーズに流れるようになる。

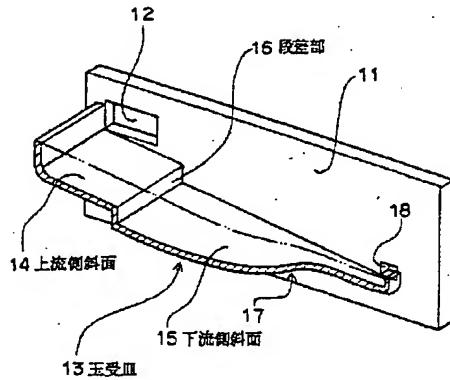
【0009】 以上説明した第1実施例では、上流側斜面14の勾配は下流側斜面15の勾配とほぼ同じになっているが、上流側斜面14の勾配を下流側斜面15の勾配よりも大きくして、上流側斜面14から下流側斜面15への玉流れの勢いを更に大きくするようにしても良い。これを具体化したものが図2及び図3に示す本発明の第2実施例である。この第2実施例の玉受皿20は、上流側斜面21の勾配を下流側斜面22の勾配よりも大きくすると共に、上流側斜面21の上方を賞球排出カバー24で覆って、その右端面に賞球流下口25を形成している。この場合、パチンコ機の前面下部に設けられた前板

26の賞球出口27から玉受皿20の上流側斜面21上に流れ込んだパチンコ玉の流れ方向が下流側斜面22の方向へスムーズに方向転換できるように、賞球排出カバー24の前面左側部分が滑らかな曲面状に形成されている。

【0010】この第2実施例の玉受皿20は、上流側斜面21の勾配を下流側斜面22の勾配よりも大きくしているので、上流側斜面21から下流側斜面22への玉流れの勢いを一層大きくすることができ、玉流れの勢いによる玉崩し効果を一層大きくすることができる。しかも、この第2実施例では、上流側斜面21の上方を賞球排出カバー24で覆って、その右端面に賞球流下口25を形成しているので、この賞球排出カバー24による玉流れ方向転換作用によって上流側斜面21の玉流れ方向を下流側斜面22の方向へスムーズに方向転換することができ、上述した上流側斜面21の勾配の大きさと相俟って、上流側斜面21の賞球流下口25から下流側斜面22への玉流れの勢いを効果的に高めることができ、玉崩し効果を更に大きくすることができる。

【0011】尚、この第2実施例においても、第1実施例と同じように、上流側斜面21の勾配を下流側斜面22の勾配とほぼ同一にしても良いことは言うまでもない。その他、本発明は、玉受皿13、20の底面に2つ以上の段差部を形成するようにしても良い等、要旨を逸脱しない範囲内で種々変更して実施できる。

【図1】



【0012】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明の請求項1の構成によれば、玉受皿の底面を、上流側斜面に対して段差をつけて下流側斜面を低くするように形成しているので、上流側斜面から下流側斜面への玉流れに勢いがつき、その玉流れの勢いによって下流側斜面上のパチンコ玉のブリッジを突き崩して、玉流れを良くすることができて、玉詰まりを防止することができる。

【0013】また、請求項2のように、上流側斜面の勾配を下流側斜面の勾配よりも大きくすれば、上流側斜面から下流側斜面への玉流れの勢いを一層大きくすることができて、玉流れを一層良くすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例を示す玉受皿の部分破断斜視図

【図2】本発明の第2実施例を示す玉受皿の部分破断斜視図

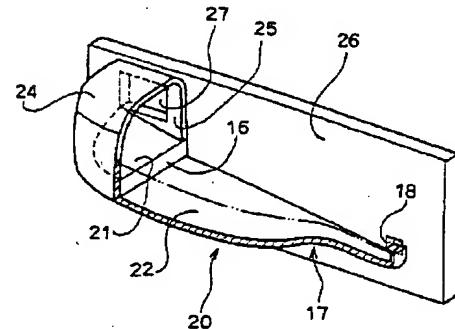
【図3】玉受皿の縦断正面図

【図4】従来の玉受皿の部分破断斜視図

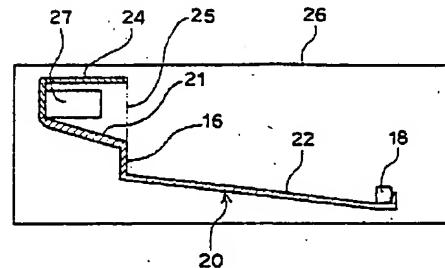
【符号の説明】

11…前板、12…賞球排出口、13…玉受皿、14…上流側斜面、15…下流側斜面、16…段差部、17…玉崩し、20…玉受皿、21…上流側斜面、22…下流側斜面、24…賞球排出カバー、25…賞球流下口。

【図2】



【図3】



【図4】

